

学校図書館の目的

図書館資料を収集・整理・保存し、児童生徒及び教職員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに児童生徒の健全な教養を育成する。(学校図書館法)

学校図書館の運営

校長	学校図書館長としての役割を担う。学校教育における学校図書館の積極的な利活用に関して学校経営方針・計画に盛り込み、その方針を教職員に対し明示する。
教員	日々の授業を含め、児童生徒の読書活動や学習活動等において学校図書館を積極的に活用して教育活動を行う。
司書教諭	学校図書館の専門的職務を司り、学校図書館を活用した教育活動の実施、各種計画の立案、他の教員への助言等、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担う。
学校司書	学校図書館を運営していくために必要な専門的・技術的職務に従事するとともに、学校図書館を活用した授業やその他の教育活動を司書教諭や教員とともに進める。
ボランティア	読み聞かせや学校図書館の環境整備、図書の整理・貸出などの支援を行う。ボランティアグループとしての活動、個人としての活動などの関わり方がある。

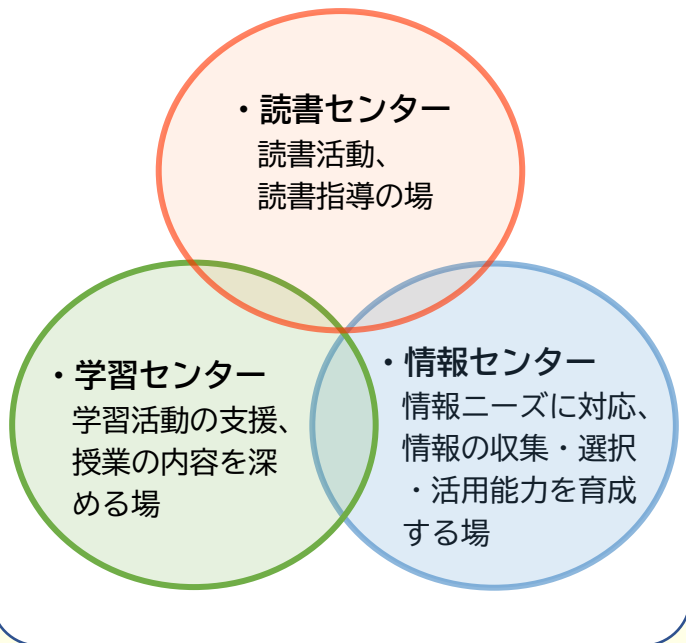
図書館資料の廃棄、更新

学校図書館の蔵書は、教育課程の展開に寄与する観点から、常に正確で新しい情報を備えた資料である必要があります。そのためには、定期的・継続的に廃棄・更新をしなければなりません。刊行後、時間の経過とともに誤った情報を記載していることが明白になった図書や、汚損や破損により修理が不可能となり利用できなくなった本などは廃棄することが求められます。

各学校においては、図書館資料の廃棄と更新が適切に行われるよう、明文化された廃棄の基準を定めるとともに、規準に沿った廃棄・更新を組織的・計画的に行います。

なお、廃棄と更新を進めるに当たって、貴重な資料が失われないようにするために、本校に関する資料や郷土資料など学校図書館での利用・保存が困難な貴重な資料については、公共図書館等に移管することも考えられます。

学校図書館の機能



図書館資料の選定、収集

図書館資料とは

図書資料 雑誌 新聞 視聴覚資料
電子資料 ファイル資料 パンフレット
自校独自の資料 模型等の図書以外の資料 など

選定、収集にあたって

特色ある学校図書館づくりを推進するとともに、図書館資料の選定が適切に行われるよう、各学校において、明文化された選定の基準を定めるとともに、基準に沿った選定を組織的・計画的に行います。学校図書館に所蔵していない資料の中で、必要な資料がある場合は、必要に応じて公立図書館や他の学校図書館との相互貸借を行うことも考えられます。

選定、収集、廃棄、更新する際の参考になるリンク



【学校図書館メディア基準】
(全国学校図書館協議会)



【図書選定基準】
(全国学校図書館協議会)



【学校図書館図書標準】
(文部科学省)



【図書廃棄規準】
(全国学校図書館協議会)

■学校図書館の各種計画について

学校は学校種、規模、児童生徒や地域の特性なども踏まえ、学校図書館全体計画を策定するとともに、同計画に基づき、教職員の連携の下、計画的・組織的に学校図書館の運営がなされるように努めることが望めます。

各種計画を策定することで、組織的に学校図書館教育に取り組むことができます。

学校図書館全体計画とは

各学校における学校図書館活用の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して学校図書館の活用を図るための方法を総合的に示した計画のこと。

作成上のポイント

学校目標を基に学校図書館教育の目標と運営方針を明確にした上で、各学年の指導目標を示し、教育活動全体でどのように取り組むのかを具体的に示します。

学校図書館運営計画とは

「学校図書館全体計画」に基づき、年間を通して学校図書館をどのように運営するのかを示した計画のこと。

作成上のポイント

各学校の図書館運営や図書館行事を中心に、教職員や図書ボランティア、児童生徒等がどのように関わるのかを具体的に示します。

学校図書館年間活用計画とは

学校図書館を活用する上で、各教科、道徳科、特別活動などにおいて児童生徒にどのような内容を指導するのかを示した計画のこと。

作成上のポイント

各教科等における指導の内容及び時期を、児童生徒の実態に合わせて具体的に示します。

※各種計画例は、奈良県教育委員会のwebページからダウンロードすることができます。

(<https://www.pref.nara.jp/54882.htm>)



学校図書館の充実のために



令和5年3月

奈良県教育委員会事務局 学ぶ力はぐくみ課

■ 学校図書館全体計画例

学校教育目標

創造的な知性、響き合う感性、たくましい体力を身に付け、互いに協力し磨き合う心を培い、生命を大切に作る人間性豊かな児童を育成する。

学校教育目標を実現するために、学校図書館教育において目標にする内容を明確にします。

学校図書館教育の目標

- ・多様な資料から目的に応じた情報を選び出すことによって課題解決を図り、情報活用能力を育成する。
- ・読書の楽しさや喜びを味わうことにより、進んで読書する習慣を身に付け、豊かな心情を養う。

学校図書館教育の運営方針

- ・教育課程に位置付けた学校図書館利用や授業での活用を推進する。
- ・読書センター、学習センター、情報センターとしての学校図書館の充実を図る。
- ・学校司書、司書教諭、教職員の連携を密にし、図書館教育の推進を図る。
- ・教科等の指導のための文献、教材として使える図書などを集めて、教員のサポート機能の充実に努める。
- ・児童の校内における「心の居場所」づくりに努める。

学校図書館を運営していく上で、どのような取組を進めるのかを具体的に示します。

指導目標

各学校の児童の実態等に合わせた指導目標を設定します。

低学年	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館の利用の仕方の基本的な知識、技能を身に付けることができる。・本の面白さを知り、楽しんで読もうとする。	中学年	<ul style="list-style-type: none">・進んで学校図書館を利用する態度を培い、適切な資料を見つけることができる。・いろいろな読み物に興味をもち、読書の幅を広げる。	高学年	<ul style="list-style-type: none">・学校図書館の仕組みを知って積極的に利用し、目的に応じて地域の施設を活用することができる。・読書活動を通して、知識を増やすとともに心情を豊かにする。
-----	---	-----	---	-----	---

教育活動全体

目標を達成するために、教育活動全体でどのように取り組むのかを明確にします。

各教科、総合的な学習の時間

- ・図書館の資料から自分に必要な情報を取捨選択し、学習に利用する。
- ・図書館での学習を通し、思考力、判断力、表現力を身に付ける。
- ・図書館の資料を活用し、情報を適正に処理し、思考力を身に付ける。

道徳

- ・様々な資料を通して、自分の考えと違う考え方を尊重したり、自主的に判断したりする。

外国語活動

- ・外国語についての資料を通し、言語やその背景にある文化に対する理解を深めようとする。

特別活動

- ・学級活動を通して、読書に親しむ態度を身に付ける。
- ・図書委員会の活動を通して、読書に親しむ。

家庭、地域との連携

- ・図書だより等を通して、家庭における読書の習慣化を図る。

子ども読書活動、学校図書館に関するリンク

● 子ども読書の情報館

<https://www.kodomodokusyo.go.jp/>

子どもにぴったりの本を探すためのコーナーや読書活動へのアドバイス、優れた読書活動の事例などが掲載されています。



● 図書館実践事例集

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

(令和2年3月 文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/mext_00768.html

全国各地の学校図書館で行われている取組が掲載されています。



● 図書館に役立つ資料 (全国学校図書館協議会)

<https://www.j-sla.or.jp/material/index.html>

学校図書館に関する様々な資料が掲載されています。



● 奈良県子ども読書活動の充実を目指して

(令和2年9月 奈良県教育委員会)

<https://www.pref.nara.jp/secure/92842/kodomodokusyo2020.pdf>



※学校図書館に関する具体的な事例については、下記URLからダウンロードすることができます。

(<https://www.pref.nara.jp/54882.htm>)



問合せ先

〒630-8502 奈良市登大路町30

奈良県教育委員会事務局学ぶ力はぐくみ課教育統計係

TEL 0742-27-9830 FAX 0742-27-1021

奈良県教育委員会ホームページ

(<https://www.pref.nara.jp/1691.htm>)



■ 学校図書館運営計画例

	学校図書館行事	教員	学校司書	図書ボランティア	図書委員の活動
4月	・朝読書開始 ・子ども読書の日 (4/23)	・学校図書館便りの発行 (随時) ・読み聞かせ(随時) ・各種計画の作成	・貸し出しカード、読書 記録カード等の準備 ・図書の貸し出し、返却 (常時) ・環境整備(常時) ・読み聞かせ(随時) ・レファレンスサービス (随時)	・環境整備(常時) ・読み聞かせ(随時)	・委員の組織作りと 年間計画 ・1学期貸出開始 ・図書委員会だより
5月	・子ども読書週間 (5/1 ～5/14)	・子ども読書週間の計画、 準備			
6月		・読書イベントへの支援 ・図書委員への読み聞か せ指導	・読書イベントへの支援	・読書イベントへの支援	・読書イベント ・読み聞かせのため の選書、練習
7月	・夏休み長期貸 し出し	・夏休み中の読書につい での指導 ・職員作業 (環境整備、廃棄作業)			・1学期の活動の 反省
8月			・蔵書点検、図書修理 ・新着図書の受け入れ、 紹介、配架 ・寄贈図書の登録、配架	・蔵書点検、図書修理	
9月		・「おすすめの本」の 掲示	・「おすすめの本」の 掲示	・「おすすめの本」の 掲示	・2学期貸出開始 ・放送等による読書 推進
10月	・全国読書週間 (10/23 ～11/10)	・全国読書週間の計画、 準備 ・図書委員への読み聞か せ指導			・読み聞かせのため の選書、練習
11月		・読書イベントへの支援 ・冬休み中の読書につい での指導	・読書イベントへの支援	・読書イベントへの支援	・読書イベント ・読み聞かせ
12月	・冬休み長期貸 し出し		・新着図書の受け入れ、 紹介、配架		・2学期の活動の 反省
1月		・図書委員への読み聞か せ指導			・3学期貸出開始 ・読み聞かせのため の選書、練習
2月					・読み聞かせ ・6年生を送る会に 向けた掲示物準備
3月		・春休み中の読書につい での指導 ・職員作業 (環境整備、廃棄作業) ・利用状況のまとめ ・各種計画の総括	・蔵書点検、図書修理	・蔵書点検、図書修理	・1年間の活動の 反省 ・書架のそうじ

1年間を通して、それぞれの月にどのような学校図書館や読書に関わる行事があるかを示します。

図書ボランティアとの連携を図るためには、協力内容を明確にし、活動後には教職員と図書ボランティアで意見交流することが大切です。

学校図書館の機能と児童生徒とのかかわり

読書センターの機能を充実させるための取組

展示を工夫した環境



新着本や季節のおすすめの本、行事に合わせた本などを展示することで、児童生徒に読書に関する興味・関心をもたせます。

読み聞かせ、ブックトーク



発達の段階に応じた読み聞かせや、テーマに合わせたブックトークを通じて、本に親しむ態度を養います。

学習センターとしての機能を生かした実践事例

新聞を活用した取組

学習指導要領では、情報活用能力の育成を図るため、学校において、新聞の活用を図ることが示されています。

国語科(小学校第5学年)

▶目標

「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

▶活動例

新聞記事の本文と図表などを結び付け、筆者の論の進め方の工夫について分かったことなどをまとめて説明する。

社会科(中学校公民的分野)

▶目標

持続可能な社会を形成することに向けて、地球環境など解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを表現する。

▶活動例

同じ環境問題をテーマとした異なる新聞記事を読み比べ、自分の考えをまとめて表現する。

情報センターとしての機能を生かした例

学校図書館の利用指導

作者名でアイウエオ順に並んでいるよ。



各学年の実態に合わせて、例えば本などの種類や配置、探し方について指導するなどの利用指導を行います。

児童生徒が作成した成果物の蓄積

壁新聞をまとめる際に使用した図書資料の書架



生活科の学習でまとめた壁新聞

各教科等で児童生徒が作成した成果物を展示、蓄積することで、児童生徒の学びを共有することができます。

各教科等における学校図書館年間活用計画例

小学校第1学年の例

○…教材名、単元名 □…児童の学習活動

学校図書館全体計画の指導目標を基に、具体的な指導内容を示します。

各月ごとに、学校図書館を活用する各教科等における、教材や単元名、学習活動について記入します。

低学年の目標	学校図書館の利用の仕方の基本的な知識、技能を身に付けることができる。 本の面白さを知り、楽しんで読もうとする。			
図書館の利用	本を大切に扱い、学校図書館のきまりを知る。			
読書活動	読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を選んで読んだりする。			
	4月	5月	6月	7月
国語		○としょかんへいこう □学校図書館の本を大切に扱うことや本を静かに読むことなどのきまりについて知る。	○大きなかぶ □世界の様々な絵本を選んで読む。	○としょかんとなかよし □読みたい本の見つけ方について知る。
算数				
生活	○がっこうだいすき □学校内の学校図書館の場所について知る。 ○はるのがっこう □校庭で見つけた春の自然について、図鑑で探す。	○おおきくそだて □植物の花や種、育て方について、本で調べる。		
音楽				
図画工作				
体育				
道徳	○がっこうにはね □学校生活における不思議について描かれた絵や絵本などを見聞きし、よりよい学校生活について考える。		○ハムスターのあかちゃん 【わたしたちの道徳】 □生き物に関する本を探して読み、生命を大切にすることについて考える。	
特別活動		○がっこうとしょかんをつかおう(国語科との関連) □学校図書館の使い方を知り、学校図書館を日々の学習に活用しようとする。		

各教科等において、学校図書館の機能を計画的に利活用することで、児童の自主的・自発的な学習活動や読書活動をより推進することができます。

小学校の国語科において学校図書館を利用する際には、児童が必要な本や資料などを選ぶことができるよう、本などの種類や配置、探し方について指導することが重要です。また、中学校の国語科において学校図書館を利用する際には、小学校で学習した内容を踏まえながら、学校図書館などを利用する目的を明確にした上で計画的に利用し、学校図書館の機能の活用を図ることが必要です。

特別活動の指導に当たっては、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図る必要があります。各教科等で育成された資質・能力が特別活動で十分に活用できるようにするとともに、特別活動で培われた資質・能力が各教科等の学習に生かされるように関連を図ります。

各学年の教育課程に位置付けられている教科等に応じて計画を作成します。

- ・各学年、各教科の担当者が児童生徒の実態に合わせて年間計画の内容を検討します。年度末などに計画を見直し、改善を図ることにより、児童生徒の実態に合った計画を作成することができます。
- ・計画を作成することで、各教科等を横断的に捉え、教科等を越えた学習内容のつながりを明確にすることができます。